



邑南町ゼロカーボンシティ宣言

中国山地の山あい広がる邑南町は、町面積の 86%を森林が占め、これまで豊かな自然環境を基盤に自然と共生する暮らしを培ってきました。

しかし、世界規模で見ると、経済最優先による二酸化炭素排出量の増加により、地球温暖化が進行し、これが原因とみられる気候変動や異常気象により、人間の営みに支障をきたす事態が発生しています。

邑南町でも例外なく、深刻な自然災害が頻発しており、二酸化炭素排出量の増加に歯止めがかからなければ、自然災害が頻発・激甚化されることが予測されており、気候変動や地球温暖化の問題はもはや対岸の火事ではなく、問題解決の当事者として認識すべき課題となっています。

こうした状況を踏まえ、自然災害から我々の生命・財産を守るためには、「産業革命前からの平均気温上昇を1.5℃に抑える必要がある。」とされ、これの実現には、2050年までに全体として二酸化炭素排出量を実質ゼロにする必要があります。

邑南町では、旅客・貨物、家庭、公共施設分野からの二酸化炭素排出量が全体の約 80%を占めており、人間が生活していく以上、二酸化炭素の排出は避けられませんが、それぞれの場面で、二酸化炭素排出削減の工夫が求められます。

邑南町では、二酸化炭素削減の“イイ話”として、町民一人ひとりがちょっとした工夫で取組める二酸化炭素削減を啓発するとともに、邑南町が培ってきた取組みや今後取組むべき事業を通じて、二酸化炭素削減と吸収に取り組めます。

2050年までの脱炭素社会の実現は壮大な目標ですが、邑南町が世界の一員であるという自覚の下、邑南町の人たちの選択の積み重ねが、スローでちょっとずつ、二酸化炭素の排出を全体としてゼロとする社会を実現し、ちょっと先の未来には自然災害が少なく、環境と経済を両立した住みよい邑南町となるべく、2050年までの脱炭素社会の実現を前提とした事業を推進していくことを決意し、この目標に挑むことを宣言します。

令和3年3月1日

邑南町長

石橋良治